



▲ 11月24日に行われたワークショップの様子

女性が活躍できるまちを目指して

女性が輝くまち

3月8日は国際女性デーです。1908年にアメリカ・ニューヨークで行われた婦人参政権を要求するデモを起源とし、1975年に国連が制定しました。

今月号では、田原本町出身で町外で活躍している女性、町内で地域活動に取り組む女性を紹介します。女性が社会で活躍できるきっかけになればと思います。

▶プロモーション大使として活躍する女性たち



奈良県の女性の状況

- 1 核家族世帯率は**全国1位** 出典:H27年国勢調査(総務省統計局)
- 2 女性の家事関連従事時間は**全国1位** 出典:H28年社会生活基本調査(総務省統計局)
- 3 女性の就業率は**全国47位** 出典:H27年国勢調査(総務省統計局)

奈良県は全国一「夫が外で働き、妻は家庭を守る」という意識が高い。考え方を変えると、奈良県では女性の活躍が期待できる！

女性活躍推進法とは

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)が平成27年8月に成立しました。これにより、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、活躍推進に向けた行動計画の策定や公表などが事業主に義務付けられました。

田原本町で自分の夢を叶えたい

平成29年から田原本町を出て静岡県伊豆の国市で地域おこし協力隊（以下協力隊）として活動しています。高校1年生の時に田原本町に引越し、短期大学を卒業後、病院の受付として3年間勤務しました。その後「今しかできないことがしたい」「自分にしかできない何かを見つけない」と思い、協力隊に応募しました。

協力隊を通して、「狩猟」の世界と出会いました。着任してからすぐに「この地域には鳥獣被害がある」と相談され、その話を聞いて猟師になろうと決意し、狩猟免許を取得しました。

協力隊の活動では、観光商品の開発を行うように求められており、捨てるしまうことが多いシカの角を使って商品を開発する「利活用」を積極的に行っています。猟師が狩猟だけでは稼ぐことができなくても、利活用で収入につながるように工夫をしています。その中で今まであまりなかったデザ



▲シカの角を使ったアクセサリ



静岡県伊豆の国市地域おこし協力隊
武本 奈々さん

インのアクセサリーの制作を始めた。現在販売されているシカの角を使った商品の多くは男性が好きそうなデザインが多く、女性向けのデザインがあまり販売されていません。せっかく若い女性の猟師になったのだから、若者目線でアクセサリーを作ってみようと思いを制作を始めました。

協力隊を終了後、私は地元田原本町に戻ってこようと思っています。将来の夢は自分のお店を持ち、アンテナショップを立ち上げてさまざまな商品を販売していきたいと考えています。その商品の中に、シカの角のストラップやアクセサリーを加えていきたいです。自分の夢を叶えるためにまだまだ勉強が必要なので、今後は自分の夢を叶えるための時間を過ごしていきたいと思っています。

地域のために恩返ししたい

田原本町で生まれ育ち、地域に支えられて育ってきました。子どもの手が離れ、私がやりたいと思っていた高齢者と親子向けのサロンを平成19年から始めました。自分がやりたいことをやっているのと元気でいられます。地域の人たちに楽しんでもらい元気になってもらうことが元気の源です。

活動を続けられているのは、準備を手伝ってくれる人の支えや、こちらが提案した結果、ありがたい場所を提供していただくこととなった宮司さんの温かさがあってのことです。子育ての悩みはなかなか相談しにくいものです。役場に相談するまでもないこともあると思います。子育てのささいな悩みなどを聞いたり、親同士で話したりすることで少しでも気持ちがいやわらぐ時間になればと思っています。



▲子育てクラブぬくぬく



▲御田植舞の練習風景

ます。高齢者には、カフェのような気軽に話せる場所にしてもらえたらと思っています。活動をする中で参加者からの声を実現し、生け花をしたり、いろんな企画をしたりすることがあり、こちらが元気をもらっています。

親子向けには毎月第2火曜日午前10時から、高齢者には同日午後1時から鏡作神社内鏡会館で行っています。興味があれば一度のぞきに来てみてください。

その他にも、鏡作神社の御田植舞の保存会の活動もしています。以前に婦人部で御田植舞を踊っていました。宮司さんから「子どもの御田植舞を復活させてほしい」と相談され活動を始めました。さまざまな活動を通して、生まれ育った地域のために恩返しできればと思っています。



森田 紀美代さん

県の支援施策

男女がともにいきいきと
働き続けられる職場環境づくり



なら女性活躍推進倶楽部



◀経営者・管理職
向けセミナー

▶異業種交流会



「なら女性活躍推進倶楽部」では、男女がともにやりがいを感じ、いきいきと働き続けることができる職場づくりに関係団体などとともに取り組んでおり、県内の企業・事業所に会員登録いただいています。

県は、女性活躍推進に取り組むためのセミナーや会員同士の交流会などを企画・実行しています。

入会手続きから事業まで、一切費用はかかりません。セミナーや交流会も無料で参加できます。

会員登録方法

一定の要件を満たす、県内にある企業・事業所はすべて会員登録できます。詳しくは、右のQRコードへ。



☎ 奈良県子ども・女性局女性活躍推進課（なら女性活躍推進倶楽部事務局）／☎ 0742-27-8679

町の支援施策

子育て世代包括支援センター （子ども未来課）を開設しています

町では子育て世代包括支援センター（子ども未来課）を開設し、妊娠から子育て期を切れ目なく支援できるように、相談の窓口となり教室や訪問指導の実施、保育園・幼稚園の利用や、子育て支援に関する事業の利用手続きなども行っています。



▲子ども未来課前のキッズスペース

妊娠・出産は、女性にとって大きなイベントであり、不安や予測しない出来事、体調の変化やトラブルなどもおきてくる時期でもあります。子育て世代包括支援センターには女性の一生を支える助産師などの専門家を配置し、妊娠・出産・産褥^{さんじょく}、さらに赤ちゃんのケア、子育て支援など、女性とパートナーシップをもって、ケアや相談を行っています。



お気軽にご相談ください

子育てしながら働きたい人を応援

ハローワーク桜井 マザーズコーナー

小学生（12歳）以下のお子さんをお持ちで就職を希望される人に就職活動を支援



ハローワーク桜井では、子育てしながら働きたい人を応援する取り組みとして「マザーズコーナー」を設置し、お仕事探しのサポートをしています。

「マザーズコーナー」にはキッズコーナーがあり、保育士が見守る中、お子さんを遊ばせながら相談できます。子育てと両立しやすい求人の提供や、応募書類の作り方など、相談者の状況に応じお仕事探しのサポートをします。

利用日時 平日午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）

※保育士は午前9時30分～午後4時30分勤務

☎ ハローワーク桜井 ☎ 45-0112